

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・資料を読み取る力は概ね身に付いてきている。
- ・ICT を使って視覚的に資料を捉えることで、知識の定着を図ることができた。
- ・「知識・技能」では、今年度校内正答率が目標値、区平均、全国平均、昨年度校内を上回った。
- ・社会科見学に行ったり外部団体による出張授業を行ったりすることで、体験を通して内容の理解が深まり、学力の定着に繋がった。
- ・「思考・判断・表現」では、学習の成果物として新聞や標語などを作成したことで、思考力や表現力の向上に繋がった。

(2) 課題

- ・資料を読み取り、気付いたことを発言することは多いが、そこから分かることや考えたことを表現する力に個人差が見られる。
- ・資料を適切に判断し、読み取り、表現する力を高めていく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	○目標値、全国平均よりも正答率は大幅に上回っている。 前年度校内平均よりも正答率が1.8pt 上回っている。 領域別正答率を見ると、4 領域中 3 領域が前年度平均を上回っている。		
第5学年	○「知識・技能」 目標値よりも 9.7pt、全国平均よりも 10.2pt 上回っている。 ○「思考・判断・表現」 目標値よりも 13.8pt、全国平均よりも 11.7pt 上回り良好と言える。	○「知識・技能」 目標値よりも 6.1pt、全国の平均よりも 6.4pt 上回っている。 ○「思考・判断・表現」 目標値よりも 13.1pt も上回っており、良好と言える。しかし、観点別正答率では一番低い結果になっているため、この点が課題であると考えられる。 ○「主体的に学習に取り	

		組む態度」 目標値より 14.3pt、 全国の平均よりも 8.9pt 上回っている。 (第4学年時)	
第6学年	○観点別では、どの観点でも目標値、区平均、全国平均を上回った。 ○領域別でも、どの領域でも目標値、区平均、全国平均を上回った。 ○問題の内容別についても、どの問題も目標値、区平均、全国平均を上回った。しかし、個別に見ると、日本の農業については、他の内容別正答率と異なり、目標値を僅かに上回る結果となった。	○観点別では、どの観点も10pt以上目標値、区平均、全国平均を上回った。 ○領域別では、どの領域も目標値、区平均、全国平均を上回った。 ○問題の内容別では、どの問題も目標値、区平均、全国平均を上回った。特に「都道府県の様子」や「特色ある地域の様子」については、20pt近く上回った。 (第5学年時)	○「知識・技能」 目標値よりも 6.1pt、 全国の平均よりも 6.4pt 上回っている。 ○「思考・判断・表現」 目標値よりも 13.1pt も上回っており、良好 と言える。しかし、観 点別正答率では一番 低い結果になってい るため、この点が課題 であると考えられる。 ○「主体的に学習に取り 組む態度」は、目標値 より 14.3pt、全国の平 均よりも 8.9pt 上回っ ている。 (第4学年時)

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○「工場の仕事」「安全な暮らし」の資料を読み取って回答する問題では、他の問題よりも正答率が低くなっている。資料の中から必要な情報を読み取ることに課題が見られる。	○どの領域においても目標値を上回っているため、概ね良好と言える。 ○資料をもとに考え表現する問題では、他の問題に比べると正答率が低くなっている。記述式ということもあり、苦手意識があるのではないか。	○地域社会に目を向け、意欲的に調べようとしている。 ○自分の住む地域や公共物との関わりに関心をもって学んでいる児童が多い。 ○単元の学習問題について予想を立て、解決しようとする取り組みの児童が多いが、自分の地域のこととして捉えられない児童も見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○目標値、区、全国平均正答率を大幅に上回っており、良好と思われる。	○目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。	○社会的事象に対して、興味をもって意欲的に調べ学習をしている。 ○学習問題を解決するために、既習事項や既存の知識と関連付けて粘り強く学習に取り組むことに課題がある。

3 授業改善の pt (観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○毎時間 2～3 問ずつ地図遊びや、都道府県クイズや地図記号クイズから始める。	○日常の事象に目を向けさせ、なぜだろう、どうしよう等、一つずつ自分の生活に引き比べて感じ取れるような事例、資料の提示を仕組む。単元が終わるごとにポスターや新聞等にまとめる。	○動画教材を活用し、視覚的にも理解できるように指導の工夫をしていく。 ○地域巡りや社会科見学、出前授業など、積極的に行う。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○資料を読み取る際に「資料名」「縦軸」「横軸」が何を表しているか捉えさせる。 ○資料から分かることを読み取らせる。 ○読み取らせたことから考えたことを交流させ、様々な視点で読み取りができるようにする。	○学習のまとめをする時は、学習内容を振り返ってキーワードを使って表現できるようにさせる。 ○興味をもったことについて調べる時間を確保することで、まとめの内容がさらに充実するようにさせる。 ○思考ツールを活用して話し合わせることで、多角的な考え方ができるようにする。	○視覚的に内容を理解できるような教材を用意し、児童の興味関心を高め、課題設定を工夫する。